

2019年(令和元年)7月1日(月曜日)

この人



日本建築構造技術者協会
(JSCE)東北支部長

平山 浩史さん
ひらやま ひろし

6月6日に開かれた通常総会で支部長に選任された。7月に支部法人化から30周年の節目を迎えるに当たり「加藤重信前支部長の運営方針を踏襲しつつ、宮城を中心に展開している支部

東北全県へ活動波及

活動を東北全県に波及させるとともに、「会員増強による運営の安定化を目指す」と抱負を語る。 喫緊の課題は会員の「高齢化」だ。勤め先の退職に伴う正会員の退会を懸念する。正会員になると1級建築士の資格または同等の知識、能力が必要になる。「若手の入会はハードルが高い」ことから、まずは構造設計関連従事者であれば入会資格を満たせる一般会員を対象に「200人の正会員に対し、2割は集めたい」と意欲を示す。

その対策として「若い会員を獲得するにはより魅力ある活動が必要だ。これまで以上に精力的に活動し、認知度を高め、会員と会費の増加につながる好循

環を構築したい」と強調する。2019年度は技術伝承委員会を新設し、バテファン構造設計者が培ってきた技術力を若手に継承する取り組みがスタートする。さらに設備、意匠デザインを中心とする団体との連携や見学会の機会拡大なども視野に入れ、会員の交流機会を増やす考えだ。

1987年3月芝浦工業大学院建設工学専攻修了後、同年4月大成建設入社。本社と北信越支店を経て、06年から東北支店に勤務し、15年4月から現職の設計部長。仙台トラストタワーの設計部長。仙台トラストタワーなどを担当した。同協会では同年6月から副支部長兼広報委員長を2期務めた。趣味は旅行や料理など。東京都出身。57歳。